

2025年日本国際博覧会の概要

名称 2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)
テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
(Designing Future Society for Our Lives)
サブテーマ Saving Lives(いのちを救う)
Empowering Lives(いのちに力を与える)
Connecting Lives(いのちをつなぐ)
コンセプト People's Living Lab(未来社会の実験場)
会場 夢洲(大阪市臨海部)
開催期間 2025年4月13日(日)～10月13日(月)
来場者想定 約2,820万人

関西パビリオン建築計画

コンセプト ～笑顔あふれる輝く未来へ、
いつも楽しい、にぎわいのパビリオン～
特徴 ・灯籠をイメージした六角形のパビリオン
・膜をスクリーンとしたプロジェクションマッピング



関西パビリオン位置図



(会場図提供 2025年日本国際博覧会協会)



関西広域連合
UNION OF KANSAI GOVERNMENTS

関西パビリオンの概要

名称 関西パビリオン
テーマ いのち輝く関西悠久の歴史と現在
位置 東通り北側(位置図参照)
出展の主体 関西広域連合
参加府県 滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、
徳島県、福井県、三重県
基本構成 ①関西全体を表現する展示エリア
②出展参加府県による独自展示エリア
③WEBパビリオン

行・催事計画、万博後を見据えた取組

関西パビリオン多目的エリアや
万博会場の催事施設での催事実施

催事施設(いずれも現時点仮称)	
1	大催事場
2	屋外イベント広場
3	ギャラリー
4	日本伝統文化エリア[屋外小舞台]
5	日本伝統文化エリア[展示場]
6	メッセ

府県域を活用した取組や
万博を契機とした周遊観光の促進



ロードマップ



運営計画

施設管理計画、運営サービス計画、警備計画、清掃計画、多目的エリア・大関西広場運営計画 等

パビリオン内の各展示

滋賀県ゾーン

～Mother Lakeアドベンチャー～

- 「滋賀まるごと体感映像」!!
- 潜水艇による琵琶湖の水中探索
- 滋賀の魅力を見つけ出し、自分だけの「滋賀コレクション」を完成!



三重県ゾーン

～日本のこころの原点～

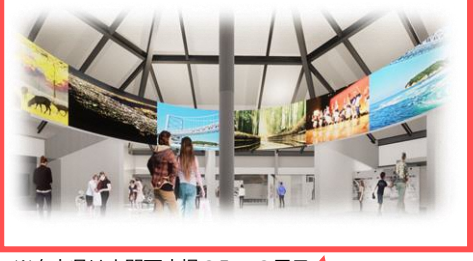
- 三重県の豊かな自然や食など「美し国みえ」の魅力をエンタテインメント型演出で体感
- 三重県の魅力と出会い、魅力を知り、三重県へ旅立つストーリーで展示を展開



**大関西広場
(関西広域連合ゾーン)**

～関西の歴史・文化の魅力を発信～

- 関西全体を紹介する映像展示
- 府県市民参加型コンテンツ
- WEBパビリオンと連動した演出



※奈良県は大関西広場のみの展示

和歌山県ゾーン

～和歌山百景～

- 神話の時代から続く和歌山県の精神文化から育まれた魅力を映像・舞台・食によって発信
- 紀伊山地の巨木を彷彿とさせる映像タワー「トーテム」では「和歌山百景」をアートで表現



徳島県ゾーン

～万博は「ゲートウェイ」、徳島「まるごとパビリオン」～

- 未来技術による伝統文化の紹介や「徳島への旅」の設計
- 世界初リアルタイムVSR観光で徳島の「今」を体感
- 360°8Kシアターによるタイムトラベルツアー



福井県ゾーン

～「恐竜王国 福井」を体感～

- 時空を超えたレイヤー体験
- 恐竜の繁栄と絶滅から未来を見つめる全天周型映像空間



京都府ゾーン

～一緒につくろう、京都の未来～

- 「文化・環境」、「産業」、「観光」、「地域」の4つのテーマで一定期間での入替も視野に入れた企画
- 若い世代を中心に府民や府内企業等の活力や創造力を最大限活用



兵庫県ゾーン

～HYOGO ミライバス～

- 過去から未来の時空を超えるミライバスに乗って、ひょうごフィールドパビリオンをはじめとする兵庫の多彩な魅力を体感
- 全天周スクリーンでアトラクション型映像を体験できるシアター空間



鳥取県ゾーン

～鳥取魅力名探偵！ 誰もが楽しめる記憶に残る体験～

- まんが王国とっとりを世界にPR!
- 「自然」「食」「文化」を無限砂丘で体験・発見!

